

第1回へき地保健医療対策検討会における論点整理（案）

論点1. 医師の育成過程等におけるへき地医療への動機付けのあり方等について検討していくことが必要

- 地域枠選抜出身医師や自治医科大学卒業医師の義務年限終了後の定着状況の評価やその率を上げるための方策について検討
- 地域枠や奨学金枠の学生のモチベーション維持のため、都道府県（へき地医療支援機構）は積極的に当該学生とコミュニケーションを図るとともに、大学と機構が協同して地域枠等の学生に対して地域医療に動機付けするような取組が必要

論点2. へき地医療支援機構の強化

第9次計画より活動してきたへき地医療支援機構は、へき地診療所に勤務する医師等の支援機能として、さらなる向上が必要である。

- 専任担当官（医師）のあり方や勤務内容について検討
※例えば、現場の医師と行政とのパイプ役が必要であり、都道府県の医務主管課に、へき地医療の勤務経験を持つ臨床医を専任担当官として配置することなどが考えられる。
- 各都道府県において参考にできる事例の収集と情報発信

論点3. 安心して勤務・生活できるキャリアパスの構築

へき地勤務医等が、自分のキャリア形成や家族への影響について心配することなく勤務できるような、医師派遣（定期的な交代）の枠組み作りに必要な対策について検討する。

- へき地勤務医の子育て、家族支援などを考慮に入れたキャリアデザインの策定
- へき地での勤務に偏らないようにするための体制整備（拠点病院等を中心としたローテーション方式等）
- 勤務体制の中で休暇が臨機応変に取得できる体制の構築（産休・育休を含む）

論点4. へき地医療を支えるへき地医療拠点病院等への支援

へき地診療所を支えるへき地医療拠点病院等地域の中核的な病院を地域全体で支援する具体的な仕組みについて検討していくことが必要である。

- へき地医療拠点病院等に対して、医師派遣に係る動機付けを与えるような支援が必要

論点5. その他の事項

- へき地勤務医師を全国的にリクルートする仕組み作りについて
- へき地における歯科医療ネットワークについて